

発行日 2001年9月27日 発行人 青木高弘 同窓会編集部 発行所 〒481-8535 愛知県西春日井郡西春町 TEL (0568) 24-0325







建物中庭を3階から撮影



待望の新棟完成

2001年2月についに新棟が完成しました。この第8号ではその全貌? を特集し新しい風を感じていただけたらと思います。



2Fから撮影/たまたまテキスタイルの作品展示が中庭で行われていた・

1Fラウンジ

東面は大きなガラス張り。ティーブレイクやちょっとしたミーティングに利用されている

X棟のすべて(!?)を

現在デザイン科は平成14年度に学部 設立を目標に申請中です。



●デジタル工房(3室)



●専任講師研究室(写真は萩原先生)

デザイン科各ブロック組織図

メディア&コミュニケーションブロック (ヴィジュアルデザイン・イラストレーション・デザインプロデュース・造形実験) プロダクト&スペースブロック (インダストリアルデザイン・スペースデザイン) クラフトブロック (形象表現1·形象表現2) ライフスタイルブロック (ライフスタイルデザイン・デザインエデュケーション)



●2F多目的ラウンジ (奥はデザイン科事務)



●中庭



より柔軟に対応できる 多彩で専門性を追求した空間



●テキスタイル工房



●クレイ工房



●茶室外側



●和室/奥に茶室



●キッチン

New! アートスペース

今、自主経営やオルタナティブアートスペースといった小さいながらも活気ある場所がどんどん出てきています。『オルタナティブ』・・・?聞き慣れない言葉かもしれません。これは「作家自らの手で作家達のために運営される非営利な小規模スペース」のことを、1970年頃からニューヨークで呼ばれるようになりました。簡単に言えば、「お金も無いし、発表する場所も無い・・・・だったら自分たちでどこか借りて、気軽に作品を見てもらえる場所を作ろう。」そんな若さ溢れるスペースのことです。この名古屋芸術大学の卒業生の中にも、こんな活動的なスペースを自らの手で作り出している頼もしい人たちがでてきました。今号では「N-mark(デザイン科卒・武藤勇さん,野田利也さん)」と「七福亭(美術研究科造形専攻洋画版画コース卒・代表川田英二さん)」の2つのスペース・グループをご紹介します。

✓ N-mark

http://www.N-mark.com/



団体名:N-mark 所在地:〒486-0842 春日井市六軒屋町東丘 25-37 phone:070-5416-6057(む とう) E-mail:info@N-mark.com

地下鉄を降りてすぐ見えてくる建物「KIGUTSU」



〜神領アートスペースでの1年間のアートスペースプログラム活動のあと、その場を閉鎖し、 場を主体とし発信していくプログラムから、プログラムを主体とし発信していくプロジェクトへと変容させ、新たな展開を迎えています。 (HPから抜粋)現在は名古屋市港区にある、昔喫茶店だった建物を改装して新しいスペースを準備中とのことです。近々オープン予定。

正面にはネオンサインで「KIGUTSU」

織田裕二の有名な言葉に「事件は会議室で起きているんじゃ ない!現場で起きているんだぁっ!!」というものがありますが、 これはアートの世界に言えることではないでしょうか。「会 議室」は大学などのサンクチュアリであり、「現場」は社会と う現実の中にあるアートシーンに言い換えることができます。 どれだけの名古屋芸大の卒業生達が大学という温床から放 り出され、社会という荒野に身を置いたときに「自分の作品」 を作り続けているでしょう。先生達はそこで生き抜く術を教 えてくれなかったし、先人達は彼等を受け入れる社会を形成 してくれていない。もし「自分の作品」がつくれていないとき、 そうやって誰かの所為にするのは簡単です。でも何も変わ らない。自分の生き様には自分で責任をもつ。自分たちが 生き抜くシーンは自分たちで創出する。という理念のもと 98年にN-markは結成されました。文字数の関係上、これ までの活動など詳しいことはn-mark.comを参照してくだ さい。今後の主な活動は名古屋市港区に新たにスペースをオー プンします。「事件」に遭遇したい方は是非お越し下さい。

七福亭

http://www.geocities.co.jp/Milano-Aoyama/2436



アクセス:名鉄犬山線 布袋駅下車徒歩1分。 名古屋芸大から63号 線(名古屋江南線)で 江南方面に車で約15 分。

お問い合わせ: 〒 483-8236 江南市 布袋町南236

アートハウス 七福邸 内 スクロール37℃

tel: 070-5774-9431, 090-4119-1951 (代表·川田英 二 22期卒)



【art house 七福邸】は、1999年5月に江南市布袋町に誕生 しました。オープンのキッカケになったのは、'98年9月に同布 袋町内で開催した酒蔵での展覧会(酒蔵生美術)に予想以上の 反響を頂き、地元の方々の協力で、空店舗になっていた築70年 のうどん屋を提供して頂いたことからはじまりました。現在、非 営利組織『スクロール37℃』 による自主運営によって企画プロ デュース活動、低価格会場レンタルの提供、各教室(絵手紙、子 供工作、フラワーアレンジメント…など)を行っています。企画 内容は、主に現代美術を扱っており、毎年開催する「HOTEI ART ANNUAL」は、県内外の若手から中堅作家をセレクトし たグループ展になっています。その他、企画イベント「流行美術」 (ファッションショー'99年12月開催)、「布袋で美術」(子供向 けワークショップ'00年7月開催)など。会場レンタルは、6日間 ¥20,000—、使用期間は、原則として火曜日~日曜日(月曜定 休)午後1時~7時。展示方法は相談に応じます(現状復帰可能 であれば、どのような展示もOKですので、特に学生さんを中心

株)午後1時~7時。展示方法は相談に応じます(現状復帰可能であれば、どのような展示もOKですので、特に学生さんを中心にレンタル募集中)。今年7月7日より七福邸1階にアートショップをオープンしました。現代美術作家による小品を中心にここだけでしか観られない作品を多数展示販売、営業時間は毎週金土日曜日、午後1時~7時。(企画展、イベント等は、週末金土日のみ開催の場合あり。)今後もスクロール37℃は美術活動を通して布袋町から多くの企画イベントを発信していきたいと考えています。もし、このアートユニットに興味を持たれた方がいましたら、随時メンバーも募集しています。

展覧会予定

「IN DA HOUSE」クラブイベント10月19日~28日、午後6時~9時(金土日のみ開催)

「 $3Room+\alpha$ 」 伊藤伴尚・加藤美奈子・近藤千鶴・高嶋理恵 11月1日 (木) \sim 11日 (日)

「HOTEI ART ANNUAL vol.3」家田仁史·加藤優一11月16日~12月9日(金土日のみ開催)

坂本 淳子 日本画 24期生



楽しい大学生活を終えてから数年が経ちました。日本画科に在籍していた私ですが、なぜか今は漫画を描いています。

3回生の終わりごろ、そろそろ就職活動を…と皆がざわざわし出す時期になって、小さい頃からの夢だった「漫画家」になる為にまだ何の行動も起こしていないなあ、と焦りを覚えて出版社への投稿を始めました。その為に学業は疎かになり、挙句に「卒業が危ないですよ」という警告のお手紙を大学から頂いたりして親を嘆かせましたが、何とか無事に卒業。そして、嘆かせた甲斐があったかどうか、卒業一年後にデビューが決まりました。

現在は、白泉社「花とゆめ」という雑誌に「サカモトミク」の名義で作品を発表させてもらっています。 今年に入ってから念願の単行本も出して頂いたので、本屋さんで見かける事がありましたら「ああこれか」と手に取ってもらえると嬉しいです。(そしてそのままレジに直行してもらえるともっと嬉しいです。) 日本画とは少々道を外れてしまいましたが、絵の面では勿論のこと、学科の勉強や皆で過ごした楽しい時間などの全てが今に役立っていて、こんなことならもっと積極的に色々学んでおくのだったなあ…と、もう一度大学に入り直したいぐらいに後悔しています。

今後はそんな反省も踏まえつつ、好きな事を仕事にできた幸せを噛みしめ、更なる飛躍を目指してが んばりたいと思います。

芳賀 基純 絵画科洋画コース 20期卒



みなさん今日は、20期洋画卒の芳賀です。

今、私は、印刷会社の営業として早9年目になります。 この仕事を通して学んだ事は、気配りと思いやりです。

外回りをしていて、いろんな業種のいろんな人との出会い、いろんな考え方があるのだと強く感じます。

ある商品の広告を作成するときにでも、その商品だけに目を向けるのではなく、その背景には必ず人が関係しているという事を意識しながら進めていくと、より豊かな表現になると思います。

相手が何を考え、何を求めているか?

そして、それに対してどのように提供していくか?

これは、私たちが思いやりを持って生きていく永遠の作業だと思います。

絶え間ない主張、絶え間ない討論、絶え間ない提案。

この繰り返しの輪の中から、また新しい発想が生まれていきます。 また、この業界では名芸の同窓生に会うことが多々あります。 彼らはまた、その独特な感性で絶えず創造を続けています。

それを刺激として私も更なる進展を目指して頑張っていきます。

大路宗規 美術研究科造形専攻 彫刻科20期卒



ホームページURL http://www.d7.dion.ne.jp/~ohji.m

1995年名古屋芸術大学彫刻科を卒業し、同大学院美術研究科造形専攻で研究をした後、愛知県海部郡佐屋町にアトリエを構え現在そこで塑像を中心とした活動をしています。

主な作品発表の場として、「白日会」と「日展」に作品を出品。

高校の非常勤講師、私塾として、子どものための造形教室「ジョイフル総計教室」を主催、愛知県海部郡にある「子ども民族館海賊船」のメインスタッフとして活動。

非常勤講師にしても、私塾にしても、日々の糧を得るために行っているものですが、私は彫刻活動を中心に生活のリズムを作っています。

自分は何をすべきなのか考え、製作をし、悩み、1つの仕事が終わるときには、「あ〜、俺はもっとやらないといけないな〜!」と毎回の様に反省して、「次はもっと!もっと!」と繰り返しております。

「次はもっと!」は、人によっては否定的な考えをもたれるかもしれませんが、私にとって「次はもっと!」が作品をつくる原動力になっている1つの要素である事は間違いありません。 私が生きて、感じている間は、繰り返されるのではないかと思っています。

木村 守 デザイン科 28期卒





平成13年3月 名古屋芸術大学デザイン科卒業 同4月 愛知県立芸術大学大学院入学

7月に刈谷市で環境セミナー夏期講座が行われました。これ は、県や市の役員の人と一緒に刈谷市を回り、3日間でまと めて各班で発表するというものです。実際に環境のプロ達 ですから現実味のある話を聞くことができて貴重な経験に なりました。僕も学生なりに夢溢れるアイデアで対抗して 熱い戦いとなりました。

学校でも4年生、3年生と一緒に課題をするなど、何かと苦 手なグループ課題が多くて僕などは押されがちですが、4年 間名古屋芸術大学で学んだことを武器にこれからも走り続 けます。皆さんも一緒に走り続けましょう。

教室のメンバー達です。(左の写真)工業大学の人や、既 に仕事をしている人、40歳の外国人など、仲間達からも今 までにない濃い刺激を受けています。

同窓生のみなさんの現在を、ご自身でレポートしていただきました。 懐かしい顔がここにあります。

また、こちらのコーナーでは同窓生のみなさまからの近況レポートを募集しております。 ご自分の顔写真・800字程度の近況レポートを同封してNUAPRESS編集部宛にお送 りください。さらに「あの同級生の近況を知りたい。ぜひ載せて欲しい。」といった、編 集部へのリクエストも受け付けています。みなさまのご要望によっては掲載等を検討さ せていただきます。誌面の充実のためにぜひご協力をお願いします。

NOW!

OG/OB

同窓生の今。



◆ 卒業生の職場便り~

今回から始まった職場レポート?! みなさんからの卒業後のお便りにもご自分の職場を紹介する内容も少な くありません。そこで編集部では、思い切って職場の様子を中心とした記事を載せることになりました。 記念すべき第一回目は絵画科洋画コース22期卒業の小竹碭子さんの職場からお送りします。



※月刊「バイクガイド」(毎月24日発売)と 季刊「THE911&ポルシェマガジン」を出版しています。 本屋さんで見かけたら一度見てみてね。

名古屋市名東区に㈱ナゴヤマガジンという出版社があります。ここには現在、5 人の名芸卒業生が働いています。上は3期生デザイン科卒の水野誠から14期 生デザイン科卒の古居正樹、18期生絵画科卒の小林祐一、小野寺利明、22期 生絵画科卒の小竹陽子までが集っています。5人が共通で関わっている仕事は 「バイクガイド」の雑誌づくり。広告、記事をデザインする側と営業、広告原稿取 材をする側に分かれて仕事をしています。お互いに先輩、後輩という感覚は全 く無く、普通の会社の上司と部下のような間柄ともちょっと違う・・・。出版の仕 事は毎月の締切りで時に過度なワークになるので、お互いの役割がとても重 要視されるのです。今回は、NUAPRESSに載る事になったので久しぶりに大 学の話題で花も咲き、記念(?)撮影もしてみました。



故 牧定忠氏、水野釺子氏を偲んで

今年平成13年、元学長の牧定忠氏(5月15日)、元理事長・現名誉学院長の水野 新子氏(8月3日)が、老衰のため御逝去されました。牧氏は、当大学の音楽学 部長として、1972年から78年、80年から85年の11年間お務めになり、教員に なった私をある距離を持って見守ってくださったような気がいたします。 今思い出されますのは、学生時代1年生の頃、アトリエ・学習環境改善要求 で理事長団交時、A棟202教室が学生で一杯だったため、理事長が入室して、 一歩退いたこと・・・。(その後の団交は人数制限が行われた)あと副助手時 代に、大学於いて理事長に突然呼び出され、目前までなぜ走って行かない かとお叱りを受けた事など・・・。

お二方とも名古屋芸術大学に貢献された偉業に敬意を表し、ここに慎んで 哀悼の意を表すと共に、哀心よりご冥福をお祈りいたします。

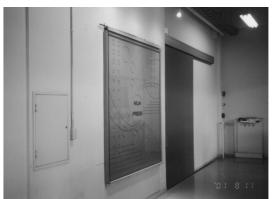
彫刻科5期卒 岩井義尚





在りし日の水野氏と牧氏

掲示板*、* <u>できまし</u>た。



B棟売店前の掲示板



掲示板中央の「NUAPRESS」

同窓会掲示板へ情報は・・・

郵便

〒481-8535 愛知県西春日井郡西春町 名古屋芸術大学美術学部 同窓会事務局 宛に FAX

0568-25-4190 ^ TEL

0568-24-0325 大学代表

上記へお願いいたします。



今回ご協力いただいた 5期卒の山田氏

昨年度のNUA PRESSで紹介した掲示板が、 今年度の夏に完成いたしました。デザインは在 学中の学生から募集し、多くの応募の中から役 員会にて選出しました。

デザインの採用された板野 匠君の説明をここ に掲載します。

「パズルのような掲示板です、広告などを貼りたい場所にコルクをあわせて画鋲で貼ります。コルクは磁石で止まるように出来ています、溝(線)の間を自由に動かすことができます。それによりコルクの貼る位置を工夫していただかないと、きれいに貼ることはできません。不便な点もあると思いますが、見て楽しく、貼るのも楽しい掲示板です。」

この掲示板は同窓生から在校生への、情報伝達の掛け橋にするための掲示板です。

同窓生の展覧会情報、関係している会社の会社案内、求人情報、アルバイト情報などを在学生に伝えるための掲示板です。掲示板を有効に活用するために同窓生の皆様から情報を募集しています、皆様の協力を宜しくお願いします。掲示、維持管理については同窓会が責任を持って行なっていきます、今後の御利用を宜しくお願いします。掲示してほしい情報、資料などお気軽にお寄せ下さい。

今回、同窓会が

後援を行った

展覧会報告

今年もたくさんの同窓生が展覧会を開催しました。8月31日以降の 時点で後援依頼及び報告書がが届いた同窓生展覧会を下記に報告し ます。これからも同窓会では同窓生の方々の作品展を後援していき ます。「後援依頼書」は、後援規約をご確認の上ご応募下さい。



- ●あさのゆき展(20期卒 浅野 友紀) 2000年5月29日~6月3日:Gallery銀座フォレスト
- ●秋田 光彦展(5期卒 秋田光彦) 2000年10月11日~28日:ギャラリー141
- ●第1回現代日本画の角考展(21期卒 石川敏之他3名) 2000年11月18日~12月10日:ギャラリーNAF
- ●太田 元弘展(太田 元弘)

2001年3月20日~25日:豊田市美術館 ギャラリー9

- ●つむじ展(27期卒) 小島 美奈 他2名) 2001年5月8日~13日:名古屋市民ギャラリー第3展示室
- ●第5回幹の会 日本画展(23期卒 岡本 昌子 他3名) 2001年5月22日~27日:愛知県芸術文化センターアートスペースH
- ●平田 隆宏展(19期卒 平田 隆宏) 2001年7月20日~29日:ギャラリーAPA
- ●ギャラリープラネット洋画展(23期卒 鈴木 善晴 他3名) 2001年7月20日~29日:ギャラリープラネット
- .人展(鈴木 朋子、野沢 明恵) 2001年8月2日~7日:妙香園画廊 4F
- ●男湯 日本画展(27期卒 余語 英明 他2名) 2001年8月2日~7日:妙香園画廊 3F



左 男湯 日本画展/右 第5回幹の会



太田元弘展



再度確認を!お願いします!

様式 1 様式.2 後援依頼 報告書 ○年○月○日 ○年○月○日 名古屋芸術大学美術学部同窓会 名古屋芸術大学美術学部同窓会 会長 青木 高弘 殿 会長 青木 高弘 殿 第○期○○○科卒業 第○期○○○科卒業 000000 印 000000 印 1)名称 〇〇〇〇展 下記の作品展について後援をお願いします。 ○○○ギャラリー 2)場所 (住所・電話番号) 1) 名 称 〇〇〇〇展

2)場 所 ○○○ギャラリー (住所・電話番号)

3)会期 ○年○月○日~○年○月○日迄

4) 代表者(出品者) 郵便番号・住所 ※氏 名 (第○期○○○科)・電話番号 注)※印は出品者全員記入

3) 会 期 ○年○月○日~○年○月○日讫

4) 代表者(出品者) 郵便番号・住所 (第○期○○○科)・電話番号 注) ※印は出品者全員記入

5)入場者数 ○○名

6)写真 写真○点添付致します。

以上作品展について報告致しますので後援金の支 給をお願い致します。 振込先/〇〇銀行・〇〇支店・〇〇座・ No.〇〇

住所・氏名(カナ名義)・電話番号

作品展に於ける後援規約

名古屋芸術大学美術学部同窓生による個人又はグループの 作品展に対して同窓会が後援する事により、同窓生の社会に 於ける活動を支援する。

1.資格

名芸大美術学部同窓生で会費を収めた者。

(グループ展の場合おおむね3割以上の同窓生で構成し、同窓 生全員が会費納入者である事)

2.後援金

個展・グループ展とも1回に二万円とし、年2回以上開催の作 品展は年1回とする。但し、後援名使用は認める。

3.手続き

イ)会期3ヶ月前迄に後援依頼書を提出し同窓会役員会の審 査を受ける。

ロ)作品展終了後10日以内に、DM及び会場(作品)写真数点 を添え報告書を提出する。尚、DM及び写真は資料にするた め返却出来ませんので御了承ください。

4.条件

イ) 作品展のDM·看板等に後援名 「名古屋芸術大学美術学部 同窓会」を明記する。

5.問い合わせ

名古屋芸術大学美術学部事務局

TEL0568-24-0325

第32回日展

■日本画

無鑑査 木村友彦(4) 入選 赤坂佳美(24) 飯田裕二(6) 宇井久雄(4) 石川文子(27) 上村洋介(5) 落合初美(7) 喜田小夜子(26) 小島美奈(27) 佐々木淳一(6) 佐野剛(25) 白井久義(5) 末松芳野(25) 給木淳子(22) 林真(22)

■彫刻

大路宗規(22) 入選 石田昇(8) 河村佳則(7) 神戸尚子(26) 田中厚好(10) 高田佳枝(26) 宮城志保(25) 長板紀義(11) 植田努(25) 岩元亜希子(27)

日彫展(彫刻)

後 記

東海テレビ賞 長坂紀義(11)

吉田千恵(24)

入選 植田努(25) 青井靖子(27) 神戸尚子(26) 河村佳則(7) 柴田恭宏(25) 木下泉(28) 田中厚好(10) 肥田宣知(27) 森矢真人(26) 松本俊一(14)

第36回日春展(日本画)

日春賞 岡本昌子(23) 佐野剛(25)

奨励賞 吉田千恵(24)

■同窓会誌NUAPRESSno.8 を順調に発行することができまし

た。発行に伴いましてご協力頂い

た皆様方に感謝を申し上げます。

■今回誌面に掲載しましたとおり、

美術学部には、待望の新棟が完成

しました。レポートでご紹介した

ように新しい施設・設備が整えら れて21世紀に相応しい名古屋芸 術大学へと変わろうとしています。

同窓会も新たな向上を目指すため

に、皆さんに同窓会への参加、協

力を改めてお願い申し上げます。 ■同窓会掲示板が、B棟1階の売 店前に設置されました。こちらへ

の情報もどしどしお寄せ下さい。

■第14回同窓会総会・懇親会が

10月27日(土)に名古屋東急ホ

テで開催されます。懇親会では、

同窓生の交流と共に豪華景品が当

たる楽しいゲーム等を企画してい

ます。毎年、先生方も大勢いらっ

しゃいますので、仲間を誘い合っ

をお待ちしております。それでは

同窓会総会・懇親会でお会いしま

落合初美(7) 入選 鵜飼義丈(25)

上村洋介(5) 喜田小夜子(26) 白井久義(5) 遠藤勤子(25) 山口今日子(22) 渡辺智子(24)

木村友彦(4) 佐々木淳一(6) 鈴木淳子(22) 水野加奈子(28) 柚木知美(27)

臥龍桜日本画大賞展

鵜飼義丈(25) 倉野奈央子(28) 玉本誠(26) 宮原剛(25) 余誤英明(27)

青垣日本画展

鵜飼義丈(25)

白日展

入選

■日本画

秋谷太朗(23) ■洋画

山田真二(18)

柳瀬雅夫(21) 熊崎尚樹(26) **西島卓磨**(26) 洒井万紀(18)

関西展(日本画)

末松芳野(25)

春の院展(日本画)

川瀬公基

第78回中部春陽会展(洋画)

杉浦尚史(5) 給木善晴(23) 小林憲明(26) 森大悟(26)

ごあいさつ 青木高弘

示板がやっと完成しました。以前の会報でも お話しましたように、在校生と卒業していった 同窓生の交流や活動の窓口になればと願って います。特にアルバイトや就職活動、その他個 展等の案内など是非どんどん活用していただ きたいと思っています。

第97回大平洋美術展

井上悟(1) 野沢道代 旧姓鈴木(10) 岩田知幸(15) 水野暢之(13) 見持祐子(22)

中部自由美術協会展

■注面

足立龍男(2) 高松功(11)

■彫刻

隈部直臣(15)

第75回国画会展

■洋画

小西雅也(16) 黒田皇(18)

■彫刻

鈴木琢磨(22) 上山明子(26) 三枝久美(24)

主体美術協会展

辻由紀(20)

二紀展

荒木勝彦(17)

美術文化協会展

清崎晃代(17)

春季創画会

小川佳浩(20)

()は卒業期

懇親会の

同窓会総会

お知らせ

以前から計画しておりました、同窓会主催の掲

またみなさんも御存知だとはおもいますが、

名古屋芸術大学元学長の牧定忠先生と、同じ く初代理事長の水野釺子先生が相次いでお亡 くなりになりました。これは大変悲しく残念な ことですが、ある意味、名古屋芸術大学の一つ の歴史が終わりを告げて、残された私達に名 古屋芸術大学を今まで以上にすばらしいもの にして、新しい歴史作りの使命を改めて与えら れたような気がします。

心よりお二人のご冥福をお祈りいたします。



昨年度の総会の様子



今年の総会・懇親会は音楽だけではなく、短大とも合同で行われます。また 加えてひとりでも多くの方に参加していただきたい気持ちから、会費を無料 にいたしました。ぜひ懐かしいお友達をお誘い合わせのうえ、お越し下さい。

場所 名古屋東急ホテル

中区栄4-6-8 tel 052-251-2411 交通のご案内

●名古屋駅より来るまで15分

●地下鉄東山線栄駅

12番出口より徒歩約5分

日時 平成13年10月27日[土] 受付16:00~ 総会·4F16:30~17:30 短大>桂の間

音楽>楓の間 美術>桐の間 懇親会17:30~19:30

会費 無料です。



ゴールデンプライズ表彰式

役員紹介

理理理理理副副副 評議員

事務局長)

デザイ デザイン デザイン 彫刻 日本画 デザイン 洋洋日日洋洋日洋日日日洋彫洋洋彫洋画画本本画画本画本本本画刻画画刻画 日日洋日彫本本画本刻

真由希子

て是非ご参加下さい。今年は、会 費が要りませんので、多数の参加

しょう。

■追伸

NUAPRESSでは今以上の読 みごたえのある誌面づくりを目指 しますので、同窓生からの原稿や 取材希望、同窓生への宣伝等、ど んどん事務局宛にお送り下さい。

スタッフ一同

お 旾 い 合 わ

世

記事のお問い合わせ、投稿、また 住所変更された方など・・・卒業期 、科、氏名、住所、電話番号をご記 入の上、下記までご連絡ください

7481-8535 愛知県西春日井郡西春町 名古屋芸術大学美術学部 同窓会事務局

TEL 0568-24-0325 FAX 0568-25-4190